



Rev.4



	ページ
1. MV-500 各種用語説明	2
2. 設定ソフト機能概要	4
3. 設定手順	
3.1 構成設定	6
3.2 構成設定方法	7
3.2.1 基板設定方法	8
3.2.2 出力モニタ設定方法	8
3.3 入力チャンネル名称・ロゴ設定	9
3.4 レイアウト・入力 MTX 設定	
3.5 詳細設定	
3.6 プリセット登録	
3.7 レイアウト切替スケジュール	14
4. MV-500 との同期方法	
4.1 MV-500 オンライン時における設定の同期方法	
4.2 MV-500 オフライン時における設定の同期方法	
5. MV-500 設定内部時刻設定	
5.1 MV-500 時刻設定方法	
6. 動作レイアウト切替	
6.1 画面単位の動作レイアウト切替方法	
6.2 プリセットによる動作レイアウトー括切替方法	
6.3 任意の設定による動作レイアウト切替方法	
7. 入力 MTX の一括設定	
7.1 入力 MTX の一括設定方法	
8. レイアウト情報のエクスポート・インポート	
8.1 エクスポート/インポート方法	
9. 設定ウィザード	
9.1 設定ウィザード起動方法	
10. MV-500 機器状態確認	
10.1 MV-500 機器状態確認方法	
11. MV-500 故障復帰設定	
11.1 MV-500 故障復帰設定方法	
12. データ構造について	
 13. 出荷時設定について 	

1. MV-500各種用語説明

設定ソフトの取り扱い説明にあたり、MV-500で使用される用語の説明を記載します。

🮯 MV-500 設定ソフト Ver 1.0.0.6			X
ファイル(F) MV接続(Z) MV設定(C) プ	リセット登録(P) ヘルプ(H)		
	F		接続ステータス
MV設定取得 MV状態 チャンネル名称 入力MTX	表示状態取得		(10.9.25.160)
画面A	画面B	画面C	画面D
A001 A002 A003	B001 B002 B003 B004 B004 B004 B004 B004 B004 B004	C001 C002 C003 C004 C004 C004 C004 C004 C004 C004	D001 D002 D003 D004 D004 D004 D004 D004 D004 D004
	B005 = B006 = B007 = B008 =	C005 = C006 = C007 = C008 =	D005 = D006 = D007 = D008 =
AUU4 AUU5 AUU6 - INPUT No.004 INPUT No.005 INPUT No.006	B009 B010 B010 B011 B012 B012 B012 B012 B012	C009 C010 C011 C012 C012 C012 C012 C012 C012	D009 D010 D011 D012
A007 = A008 =	DRUT No.023 DRUT No.022 DRUT No.023 DRUT No.024	NPUT Na.022 DIPUT Na.024 DIPUT Na.025 DIPUT Na.026	NPUT No.045 DIPUT No.047 DIPUT No.047
	B013 B014 B015 B016 INFUT No.020 DIFUT No.021 DIFUT No.022	C013 C014 C015 C016 C016 C016 C016 C016 C016 C016 C016	D013 D014 D015 D016 D016 D016 D016 D016 D016 D016 D016
画面E	画面F	画面G	画面H
E001 E002 E003 E004 E004	F001 F002 F003 F004 F004 F004 F004 F004 F004 F004	G001 G002 G003 G004 C000 G004 G004 G004 G004 G004 G004	H001 H002 H003 H004 H004 H004 H004 H004 H004 H004
E005 = E006 = E007 = E008 =	F005 = F006 = F007 = F008 =	G005 = G006 = G007 = G008 =	H005 = H006 = H007 = H008 =
E009 E010 E011 E012	DIPUT No.001 DIPUT No.001 DIPUT No.001 DIPUT No.001 F009 F010 F011 F012	DBUT No.063 DBUT No.064 DBUT No.065 DBUT No.066 G009 G010 G011 G012	DBUT No.113 DBUT No.114 DBUT No.115 DBUT No.114 H009 H010 H011 H012 Image: Comparison of the comparison
DIFUT No.002 DIFUT No.001 DIFUT No.001 DIFUT No.002	DRPUT No.002 DRPUT No.001 DRPUT No.001 DRPUT No.002	DIPUT No.067 DIPUT No.066 DIPUT No.066 DIPUT No.066	INPUT No.117 DIPUT No.118 DIPUT No.119 DIPUT No.120
E013 E014 E015 E016 INFUT No. 601 DIFUT No. 602 DIFUT No. 601 DIFUT No. 601	F013 F014 F015 F016 DIRUT No.001 DIRUT No.001 DIRUT No.001 DIRUT No.001	G013 G014 G015 G016 DPUT No.301 DPUT No.302 DPUT No.303 DPUT No.304	H013 H014 H015 H016 IMMUT No. 003 IMMUT No. 003 IMMUT No. 004
	-		

- 画面(A~H)
 ・・・出力画面を表しています。
 画面 A は出力ユニットの出力1の画面を 表しています。
- レイアウト・・・1出力画面毎に8個のレイアウトを保存出来ます。
- プリセット ・・全画面のレイアウトを一括設定する為、全画面のレイアウト番号に より構成されたデータです。プリセットは8個保存出来ます。

プリセットとレイアウトの設定関係

		プリ	セット						
		1	2	З	4	5	6	7	8
	А	1	2	1	1	3	1	1	3
	В	1	2	2	2	2	2	1	3
	С	1	2	3	3	1	3	1	3
面	D	1	2	1	4	4	4	1	3
	E	1	2	2	5	3	5	2	4
	F	1	2	З	6	2	4	2	4
	G	1	2	1	7	3	3	2	4
	Н	1	2	2	8	2	2	2	4



子画面	 ・・・入力映像を表示する為のウィンドウ画面です。 上図のように画面 A に子画面が 8 個ある場合、AOO1 から AOO8 と表示されます。 1つの画面に何個子画面を表示するかの設定は画面子画面数設定 となります。
入力	 ・・・子画面に表示する映像は SDI 入力 1~120 のどれでも選択 出来ます。(入力 MTX 機能) 子画面に表示する入力(1~120)の選択は入力 MTX 設定となります。 また、設定ソフトで入力(1~120)は上図のように「INPUT NO」で 表示されます。

レイアウト切替スケジュール

 ・・MV-500の予め登録された時刻に自動でレイアウトを切り替える 機能です。

2. 設定ソフト機能概要

設定ソフトの機能概要を以下に記載します。

- モニタレイアウト設定
 出力モニタ数、配置に合わせて設定ソフトの画面イメージを配置します。
- ・レイアウト・入力 MTX 設定
 各画面のレイアウトを設定します。
- チャンネル名称・ロゴ設定
 入力(1~120)に対してチャンネル名称・ロゴを設定します。
- ・MV-500内部時刻設定 レイアウトに表示する MV 内部時刻設定の時計の表示時刻を設定します。
- ・動作レイアウト切替 MV-500 とオンライン状態において、画面単位または全画面一括で動作レイアウトの 切替を行います。
- ・プリセットの登録
 プリセットを8個登録出来ます。
- 入力 MTX の一括設定
 複数の入力(1~120)を一括で設定します。
- ・レイアウト情報のエクスポート・インポート
 レイアウト情報を csv 形式でエクスポート、インポート出来ます。
- MV-500の状態確認
 MV-500の機器状態を確認することが出来ます。
- ・レイアウト切替スケジュール設定
 レイアウト切替スケジュールを設定します。
- ・設定ウィザード
 MV-500の最低限、必要な設定を一連の流れで行います。

3. 設定手順

MV-500 設定ソフトによる設定手順について記載します。

MV-500の設定手順として以下のように「構成設定」、「入力チャンネル名称・ロゴ設定」、 「レイアウト・入力 MTX 設定」、「詳細設定」及び「プリセット登録」の順に設定します。



各設定内容の概要を以下に記載します。設定方法の詳細については以降に記載します。

「構成設定」

使用するモニタ数等の設定を行います。

「入力チャンネル名称・ロゴ設定」

入力(1~120)に対して、名称及びロゴの設定を行います。

「レイアウト・入力 MTX 設定」

画面のレイアウト設定を行います。同時に子画面の入力(1~120)を選択します。 「詳細設定」

子画面のレイアウト設定を行います。

「プリセット登録」

全レイアウトの設定が完了後にプリセットの登録を行います。

「レイアウト切替スケジュール設定」

レイアウト切替スケジュールの設定を行います。

3.1 構成設定

MV-500のレイアウト設定において、最初に出力画面構成設定を行う必要があります。 出力画面構成の設定内容としては以下の項目があります。

基板設定

→ MV-500 の基板構成を設定します。

この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-500 には何も設定 されません。

MV-500と基板構成が異なる場合、正常に動作しない可能性があります。

・ 出力モニタ設定

出力モニタの構成を設定します。設定内容は以下の通りです。

- ▶ モニタレイアウト設定
 - → 出力モニタ数及びモニタの配置を設定します。

この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-500 には何も設定 されません。

> 各画面の最大子画面数設定 ※

→ 各画面が表示する最大子画面数の設定を行います。

- ▶ 出力モニタのアスペクト設定
 - → 各画面が表示されるモニタのアスペクト比の設定を行います。

この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-500 には何も設定 されません。

MV-500 の出力モニタのアスペクト比の設定は出力ユニットの DVI 基板の ロータリースイッチとディップスイッチにより行います。 (詳しくは MV-500 取扱説明書参照)

※「構成設定」により各画面の最大子画面数を変更した場合、「レイアウト・入力 MTX 設定」により全てのレイアウトの再設定が必要になります。

3.2 構成設定方法

構成設定は構成設定画面より行うことが出来ます。

構成設定画面は Top 画面のツールバーの「MV 設定」→「構成設定(G)」により表示します。 下記、設定を行なった後、「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500へ設定します。



手順1. 「基板構成」項目で設定を行います。

スケーラー基板、リア基板及び DVI 基板の構成を設定して下さい。

オンライン時には MV-500の基板構成で表示されます。

3.2.2 出力モニタ設定方法

- 手順1. 「出力モニタ」項目で以下の設定を行います。
 - モニタレイアウト設定

モニタレイアウトの設定により縦2×横4だけではなく、下図のように 縦3×横3のようなモニタレイアウトが可能です。

- ・各画面の最大子画面数設定
- ・出力モニタのアスペクト選択

💮 構成	保存	12			_
基板設定			基极構成	の設定	-
スケーラー基板	16 🔷 枚 最大子画面都	X 128			
リア基板	5 🔷 枚 入力ソース	X 120	モニタレ	ィアウ	トの設定
DVI基板	8 ◆ 枚				
出力エーク語家					
モニタレイアウト	横の画面数 4 ◆ 斜	従の画面数 2 🔶			子画面合計 12
画面A	画面B		=0.00	画面D	
子画面数	8 🔷 子画面数	一	設定	子画面数	16 🖨
77006	⊙16:9_4:3 ア.ペクト	⊙16:9_4:3 アスペクト	⊙16:9 _4:3	アスペクト	⊙16:9⊖4:
A WAY IN					
画面E	画面F	画面G		画面H	
画面E 子画面数	画面F 16 ◆ 子画面数	画面G 16 ◆ 子画画数	16	画面H _{子画面数}	16 🖨

MV-500 設定ソフト	、構成設定	11.4.200	a lit, from a	1,000 4	
🗿 構成	保存				
基板設定					
スケーラー基板	16 🔷 枚	最大子直面数	128		
リア基板	5 🔷 枚	入力ソース数	120		
DVI基板	8 🔷 枚				
出力モニタ設定					
モニタレイアウト	構の画面数	3 🔷 縦の	画面数 3 🔷		子画面合計 31
画面A		画面B		画面C	
子画面数	15 🖨	子画面数	16 🖨	子画面数	0 🖨
アスペクト	©16:9_4:3	72401	⊙ 16:9 _4:3	アスペクト	⊙ 16:9 _4:3
画面D		画面E		画面F	
子画面数	0 🖨	子画面数	•	子画面数	0 🖨
アスペクト	⊙ 16:9 ⊖4:3	アスペクト	⊙ 16:9 ⊖4:3	アスペクト	⊙ 16:9 ⊖4:3
画面G		画面H			
子画面数	0 🖨	子面面数	•		
72825	016:004:3	770/75	016-0-4-3		

縦3×横3のモニタレイアウト設定

3.3 入力チャンネル名称・ロゴ設定

下記手順により入力(1~120)に対して、チャンネル名称・ロゴの設定を行います。

- 手順1. Top 画面のツールバーの「チャンネル」よりチャンネル名称設定画面を表示します。
- 手順2. リストの「ロゴ」「チャンネル名称」「SID」項目にそれぞれチャンネルロゴ、 チャンネル名称、サービス ID を入力します。 (チャンネルロゴはイメージをクリックすると画像選択ダイアログが表示され ます。)
- 手順3.「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500への設定を行います。

設定ソフト Ver 1.0.0.6			x
 MV接続(Z) MV設定(C) プリセット 	登録(P) ヘルプ(H)	接続ステータス 🧷	
	45	(10.9.25.160)	
2 ▼ C 2 ▼ D 2 ▼ E 2 ▼ F 2 ▼	G 2 ▼ H 2 ▼ 182		
画面B = A002 = A003 = 8001	画面C ■ 8002 = 8003 = 8004 = 6001 = 6002 =	画面D C003 = C004 = D001 = D002 = D003 = D004	-
PRUT No.002 204UT No.00 204UT No.002 204UT N	NPUTNLOSC DPUTNLOSC DPUTNLOSC DPUTNLOSC DPUTNLOSC B0006 B007 B008 C005 C006 D DPUTNLOSC DPUTNLOSC DPUTNLOSC DPUTNLOSC D D	DIPLET IN 2021 DIPLET	
B009 BNUT NL005 A008 = A008	B010 B011 B011 B012 C009 C010 B017 Walcol	C011 C012 D009 D010 D011 D011 D012 D012 D010 D011 D012 D012	
1NRUT NG.008 301.3 3 THE EX	BUI14 - BUI15 - BUI15 - CUI13 - CUI14 - DEUTINGO DEUTINGO DEUTINGO DEUTINGO DEUTINGO	CO15 - CO16 - DO13 - DO14 - DO15 - DO16 DRITILISI DRITILISI DRITILISI DRITILISI DRITILISI DRITILISI DRITILISI DRITILISI 加田日	
E002 E003 E004 F001 DIRUT NA 502 PRUT NA 501 ZIENT NA 502 PRUT NA 501	F002 F003 F004 O001 O002 F002 F004 F000 F0000 F0000F000 F0000 F0000 F0000 F0000 F0000 F000	G003 G004 H001 H002 H003 H004 H004 H004 H004 H004 H004 H004	
E006 E007 E008 F005 NUT No.001 DOUT No.002 DOUT NO.00	F006 = F007 = F008 = G005 = G006 = permanon 1007 = F002 = permanon 1007 = F002 = G009 = G010 = F012 = F0	G007 G008 H005 H006 H007 H008 DBUTNLISS	
NEXT NO.001 DEPUT NO.002 DEPUT NO.002 DEPUT NO.002 E014 E015 E016 F013 DEPUT NO.002 DEPUT NO.002 DEPUT NO.002 DEPUT NO.002	Set Set Table Set Table DRUTALISS DRUT	DPUT NLIMO DPUT NL	
			「中面面の主子」
		順1. チャンネル名称設	に回回の表示
		順1.ナヤンイル名称設	
MV-500 設定ン	テレンネル名称	順 1. チャンネル名称設	
 MV-500 設定ソ チャン 	フトチャンネル名称 パネル名称 設定	順1. チャンネル名称設 問い合わせ 手順3	正画面の表示 3. MV-500 へ設
 MV-500 設定ン デャン 入力可能 Input I 	プト チャンネル名称 パネル名称 No 1 ~ 120	順 1. チャンネル名称設 興v含わせ。 手順 3	に回回の表示 3. MV-500 へ設
 MV-500 設定ン デャン 入力可能 Input I INPUT No 	フト チャンネル名称 パネル名称 設定 No 1 ~ 120 チャンネルロゴ	順 1. チャンネル名称設 問い合わせ チャンネル名称	正面面の表示 3. MV-500 へ設 SID
 MV-500 設定ソ チャン 入力可能 Input I INPUT No 1 	マフト チャンネル名称 マネル名称 設定 (No 1 ~ 120 チャンネルロゴ MIM alvix_logo.bmp	順1. チャンネル名称設 問い合わせ チャンネル名称 スカパーCHZ01	正面面の表示 3. MV-500 へ設 SID 001
■ MV-500 設定ソ ② チャン 入力可能 Input I △ INPUT No 1 2	フト チャンネル名称 パネル名称 設定 No 1 ~ 120 チャンネルロゴ Alim alvix_logo.bmp	順1. チャンネル名称設 問い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02	に回回の扱い 3. MV-500へ設 SID 001 002
 MV-500 設定ソ デヤン 入力可能 Input I INPUT No 1 2 3 	ドフト チャンネル名称 パネル名称 シネル名称 シネル名称 シネルロゴ チャンネルロゴ インズ alvix_logo.bmp インズ alvix_logo.bmp マートクトーク マート インズ alvix_logo.bmp	順1. チャンネル名称設 問い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02 スカパーCHZ03	正面面の表示
■ MV-500 設定ソ デヤン 入力可能 Input I △ INPUT No 1 2 3 4	リフト チャンネル名称 レネル名称 シネル名称 シネル名称 シネル名称 シェー・ ション・ ション・ ション・ ション・ ション・ ション・ ション・ ション	順1. チャンネル名称設 周い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02 スカパーCHZ03 スカパーCHZ04	に回回の扱い SID 001 002 003 004
 MV-500 設定ソ デヤン 入力可能 Input I INPUT No 1 2 3 4 5 	リフト チャンネル名称 マネル名称 マネル名称 ロー マネルロゴ イロス イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マネルロゴ イロス ロー マス ロー マス レロゴ マー ロー マー ロー マー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロー ロ	順1. チャンネル名称設 周い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02 スカパーCHZ03 スカパーCHZ03 スカパーCHZ04 スカパーCHZ05	EE 面面の扱い
■ MV-500 設定ソ デヤン 入力可能 Input I △ INPUT No 1 2 3 4 5 6	マフト チャンネル名称 マネル名称 設定 No 1 ~ 120 デャンネルロゴ All alvix_logo.bmp All alvix_logo.bmp All alvix_logo.pmg All skp_hd.bmp All alvix_logo.bmp	順1. チャンネル名称設 ■い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02 スカパーCHZ03 スカパーCHZ04 スカパーCHZ05 スカパーCHZ06	EEEEEEの扱い
■ MV-500 設定ン 分 チャン 入力可能 Input I INPUT No 1 2 3 4 5 6	フト チャンネル名称 マネル名称 設定 マネル名称 設定 No 1 ~ 120 チャンネルロゴ Aux alvix_logo.bmp Aux alvix_logo.bmp 意いな_logo.pmg 意いないののののののののののののののののののののののののののののののののののの	順1. チャンネル名称設 ■い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02 スカパーCHZ03 スカパーCHZ03 スカパーCHZ04 スカパーCHZ05 スカパーCHZ05 スカパーCHZ06 スカパーCHZ07	に回回の扱い SID 001 002 003 004 005 006 007
 MV-500 設定ソ デャン 入力可能 Input I INPUT No 1 2 3 4 5 6 7 	フト チャンネル名称 ネル名称 シネル名称 シネル名称 シネルロゴ チャンネルロゴ ハ 、 alvix_logo.bmp ふ、、 alvix_logo.bmp ふ、、 skp_hd.bmp ふ、、 logo.png ふ、、 skp_hd.bmp ふ、、 alvix_logo.bmp ふ、、 alvix_logo.bmp ふ、、 alvix_logo.bmp ふ、、 alvix_logo.bmp ふ、、 alvix_logo.bmp ふ、、 alvix_logo.bmp ふ、、 alvix_logo.bmp	順1. チャンネル名称設 ■い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02 スカパーCHZ03 スカパーCHZ03 スカパーCHZ04 スカパーCHZ05 スカパーCHZ05 スカパーCHZ07 スカパーCHZ07	EEEEEEOジ表示 SID 001 002 003 004 005 006 007 000
■ MV-500 設定ン 分 チャン 入力可能 Input I I INPUT No 1 2 3 4 5 6 7 8	フト チャンネル名称 ポル名称 設定 No 1 ~ 120 デャンネルロゴ All alvix_logo.bmp All alvix_logo.bmp 意いな、logo.png 意いな、logo.bmp All alvix_logo.bmp All alvix_logo.bmp All alvix_logo.bmp All alvix_logo.bmp All alvix_logo.bmp	順1. チャンネル名称設 事い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02 スカパーCHZ02 スカパーCHZ03 スカパーCHZ04 スカパーCHZ05 スカパーCHZ05 スカパーCHZ06 スカパーCHZ07 スカパーCHZ08 こさい。のどろの。	EEEEEEOジ表示 SID 001 002 003 004 005 006 007 008 008
■ MV-500 設定ン テヤン 入力可能 Input I へ INPUT No 1 2 3 4 5 6 7 8 9	フト チャンネル名称 マネル名称 マネル名称 マネルス	順1. チャンネル名称設 ■い合わせ 手順3 チャンネル名称 スカパーCHZ01 スカパーCHZ02 スカパーCHZ03 スカパーCHZ03 スカパーCHZ05 スカパーCHZ05 スカパーCHZ06 スカパーCHZ07 スカパーCHZ08 スカパーCHZ09	EEEEEEOジ表示 SID O01 O02 O03 O04 O05 O06 O07 O08 O09 O09

3.4 レイアウト・入力 MTX 設定

下記手順により各画面のレイアウト及び入力 MTX 設定を行います。

- 手順1. Top 画面の画面選択画面で設定対象の画面をクリックし、レイアウト画面を表示します。
- 手順2. ツールバーの「レイアウト選択」により、設定対象のレイアウト番号を選択します。
- 手順3. 「画面固定」項目により、レイアウトの固定を解除します。
- 手順4. 下記操作により、子画面、時計、コメントウィンドウ及び背景の設定を行います。 【子画面】

対象の子画面イメージのドラッグ、矢印キー又はコンテキストメニューに より設定を行います。

【時計】

ツールバーの「アナログ時計」「デジタル時計」項目、時計イメージのドラッグ 又はコンテキストメニューにより設定を行います。

【コメントウィンドウ】

ツールバーの「レイアウト(L)」→「コメントウィンドウ(O)」、 コメントウィンドウイメージのドラッグ又はコンテキストメニューにより 設定を行います。

【背景】

ツールバーの「背景」項目により表示 ON/OFF、画像の選択を行います。

※ レイアウト画面では、設定が変更された時点で MV-500 に反映又は設定ソフトへ保存が 行われます。



3.5 詳細設定

下記手順により子画面のレイアウトの設定を行います。

- 手順1. レイアウト画面より設定対象の子画面イメージをダブルクリックし、詳細設定画面を 表示します。
- 手順2. 各種設定を行います。
- 手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500への設定を行います。
- ※ 詳細設定画面では「設定(保存)」ボタンを押下するまで、MV-500への反映又は設定ソフト への保存は行われません。



3.6 プリセット登録

下記手順によりプリセットの登録・切替を行います。

- 手順1. Top 画面のツールバーの「プリセット登録」によりプリセット登録画面を表示します。
- 手順2. リストの各プリセットの画面レイアウト番号を入力します。
- 手順3. 「登録」ボタンを押下し、保存します。



- 3.7 レイアウト切替スケジュール
 - 手順1. レイアウト切替スケジュール設定方法 Top 画面のツールバーの「MV 設定(C)」→「レイアウト切替スケジュール登録(A)」 よりレイアウト切替スケジュール画面を表示し、以下の操作方法により「新規設定」、 「登録内容の編集」「登録の削除」を行います。



新規設定方法

- 手順1. スケジュール登録でスケジュール内容を入力し、登録ボタンを押下します。
- 手順2. 入力した内容のスケジュールが登録済み一覧に未設定として表示されます。
- 手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500へ設定を行います。

	/	/ [手順3	. M∖	/-500	へ設定] ∕[≢	順1.	スケジ	ュール	内容をス	入力
4V-500 設定ソフ	トレイアウト切替スケジュ	1-11				_/				14.4	****	
	「切替スケジュール	設定	問い合わせ									
実行日時	画面A レイアウト番	画面日 号 レイアウト	▲ 画 ● 番号 レイア	面C ウト番号 レ1	画面D (アウト番号 I	画面E レイアウト番号	画面F レイアウト番	画面G ラ レイアウト	画] 番号 レイア!	町H ウト番号		登録
2012/04/15 18:	56:21 - 0 🛊 ※ レイアウ	0 2ト番号に0を設加	◆ とすると、その画	0 ◆ 面に対してレイス	0 ◆ Pウトの変更は行	0 ♦ いません。	0 🖨	0 ;	÷ ,		C入力 • +1	ァンセル
録済み一覧	編集 削除	2 / 1	.28									
削除	実行日時	画面A レイアウト番号	画面B レイアウト番号	画面C レイアウト番号	画面D レイアウト番号	画面E レイアウト番号	画面F レイアウト番号	画面G レイアウト番号	画面H レイアウト番号	時計種類	登録状況	
	2012/04/10 14:05:43	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済	
	2012/04/11 09:51:28	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済	

手順2. 登録するデータが表示

登録内容の編集

- 手順1. 登録済み一覧より編集対象のスケジュールを選択します。
- 手順2. 「編集」ボタンを押下し、スケジュール登録で編集内容を入力し、「登録」ボタンを 押下し編集内容を反映します。
- 手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500へ設定を行います。

エール豆跡	>切替スケジュール	設定	問い合わせ				/				
実行日日	画面A サレイアウト番	画面E 号 レイアウ!	3 画 ト番号 レイア	面C ウト番号 レイ	画面D アウト番号 I	画面E レイアウト番号	画面F レイアウト番 ⁸	画面G ラ レイアウト	画 番号 レイア:	町H 時 フト番号	
04/15 18:	56:21 - 0 🖨	0	\$	•	0	0	0	0	÷		c入力 • キャン t
1. — ES	※ レイアウ	7 ト番号に0を設)	をすると、その画	面に対してレイフ	⁷ ウトの変更は行	いません。					
~ <u> </u>	編集 削除	2 / 3	128								
削除	実行日時	画面A レイアウト番号	画面B レイアウト番号	画面C レイアウト番号	画面D レイアウト番号	画面E レイアウト番号	画面F レイアウト番号	画面G レイアウト番号	画面H レイアウト番号	時計種類	登録状況
	2012/04/10 14:05:43	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済
	2012/04/11 09:51:28	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済

登録の削除

- 手順1. 登録済み一覧の「削除」項目にチェックを入れます。
- 手順2. 「設定」ボタンを押下し、MV-500へ設定を行います。 登録済み一覧より削除項目を非表示にする場合は、「削除」ボタンを押下して下さい。

メール 実行 2/04/15 Fみ一覧	·豆科 〒日時 5 18:5	画面A レイアウト番 6:21 ▼ 0 ◆ ※ レイアウ	画面B レイアウト 0 ト番号に0を設定	■ 番号 レイア \$ 5336 - 305 - リ	®C ウト番号 レイ ○ ♦ ストより	^{■面D} (アウト番号)))))))))))))))))) (アウト番号)))) (アウト番号))) (アウト番号))))	画画E レイアウト番号 の く 可象を引	^{画面F} レイアウト番号 ● ◆	画面G レイアウト番 0 ◆	画 時 レイア!	面H 時 ウト番号 0 ◆ LT	計種類 C入力 • キ	登録 ヤンセ
ſ	削除	編集 削除 実行日時	2 / 1 画面A	28 画面B	画面C	画面D	画面E	画面F	画面G	画面日	時計種類	登録状況]
Ľ		2012/04/10 14:05:43	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済	
		2012/04/11 09:51:28	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内即時計	設定済	
L													

4. MV-500との同期方法

4.1 MV-500 オンライン時における設定の同期方法

MV-500 とオンラインで設定した内容は設定ソフトに保存され、随時 MV-500 と設定され、 同期が保たれます。

4.2 MV-500 オフライン時における設定の同期方法

MV-500 とオフラインで設定した内容は設定ソフトに保存されます。

MV-500 へは接続時に表示される下記メッセージで同期方法を選び、MV-500 と同期して下さい。



5. MV-500設定内部時刻設定

5.1 MV-500 時刻設定方法

手順1. Top 画面のツールバーの「MV 設定(C)」→「時刻設定(T)」により設定を行います。 設定ツールが起動しているパソコンの時刻が設定されます。

時刻を設定		
MV-500 設定ソフト Ver 9.0.21022.8		X
ファイル(F) MV接続(Z) MV設定(C) プリセット登録(P) ヘルプ(H) Debug(D)	
構成設定(G)		接続ステータス
MV設定取得 MV状態 チャン 時刻設定(T)		(10.9.25.211)
動作レイアウト設定 レイアワト切替スケシュール登録(A)		
A 1 ▼ B 1 ▼ C 1 ▼ 設定ウイザード(S)		
画面A 工場出荷時設定(F)	画面C 画面	۵D
A001 = A002 = A003 = A004 = B001 = B002 = B003 = B004		
A005 = A006 = A007 = A008 = B005 = B006 = B007 = B008		
реллысов		
A013 A014 A015 B013 B014 B015 B016 DRUTINGG2 DRUTINGG2 DRUTINGG2 DRUTINGG2 DRUTINGG2 DRUTINGG2		
画面E画面F	画面G 画面	5H

6.1 画面単位の動作レイアウト切替方法

画面単位で動作レイアウトの切替が出来ます。切替手順は以下の通りです。

- 手順1. Top 画面よりレイアウト画面を表示します。 (レイアウト画面の表示方法は「3.4 レイアウト・入力 MTX 設定」を参照下さい。)
- 手順2. 「レイアウト」項目のコンボボックスよりレイアウトを選択することにより、 動作レイアウトが切り替わります。



6.2 プリセットによる動作レイアウトー括切替方法

「3.6 プリセット登録」により登録されたプリセットにより、動作レイアウトの一括切替が 出来ます。

切替手順は以下の通りです。

- 手順1. Top 画面よりプリセット登録画面を表示します。 (プリセット登録画面の表示方法は「3.6 プリセット登録」を参照下さい。)
- 手順2.「動作プリセット」項目のコンボボックスより動作レイアウトを選択することにより、 動作レイアウトが切り替わります。

/-500 設定ソン	フトプリセット		1.0							
作プリセット	1 -									
プリセッ	ک ۲	録								
	画面A		画面B		画面C	画面D	画面E	画面F	画面G	画面H
JUEWR	レイアウト	睛号	レイアウト番	鲟号	レイアウト番号	レイアウト番号	レイアウト番号	レイアウト番号	レイアウト番号	レイアウト番号
1	1	ŧ	1	\$	1	1	1	3 🖨	1	1 🖨
2	2	ŧ	2	ŧ	2	2	2 🖨	2 🖨	2 🖨	2 🔷
3	3	ŧ	3	\$	3	3 🖨	3 🖨	3 🖨	3 🖨	3 🖨
4	4	ŧ	4	\$	4 🖨	4 🖨	4 🖨	4 🖨	4	4 🖨
5	5	ŧ	5	ŧ	5 🖨	5 🖨	5 🖨	5 🖨	5 🔷	5 🔷
6	6	ŧ	6	ŧ	6	6	6 🖨	6 🖨	6	6 🖨
7	7	ŧ	7	ŧ	7 🖨	7 🖨	7 🖨	7 🖨	7 🖨	7 🖨
8	8		8	۵	8 🛔	8 🛓	8 🛔	8 🛔	8 🛔	8 🛓

6.3 任意の設定による動作レイアウト切替方法

任意のレイアウトの組み合わせの動作レイアウトの一括切替が出来ます。

切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面の「動作レイアウト設定」項目で任意のレイアウトを選択します。

手順2.「設定ボタン」押下により動作レイアウトが切り替わります。

	/ 任意のレイアウ	ウトを選択		
🮯 MV-500 設定ソフト Ver 1.0.0.6	_			X
ファイル(F) MV接続(Z) MV設定(C) プ	リセット登録(P) ヘルプ(H)			
	r =		接紙	ミステータス 🦳
MV設定取得 MV状態 チャンイル名称 入力MTX	表示状態取得		(10).9.25.160)
画面A	画面B	画面C	画面D	
A001 = A002 = A003 =	B001 B002 B003 B0 NPUT No.013 DIPUT No.015 DIPUT No.015 DIPUT	004 C001 C002 C0 UT No. 015 DIFUT No. 025 DIFUT No. 025 DIFUT	03 C004 D001 D002	D003 D004 D004
INPUT No.001 INPUT No.002 INPUT No.003	B005 = B006 = B007 = B0	008 = C005 = C006 = C0	07 = C008 = D005 = D006	= D007 = D008 =
	B009 B010 B011 B011 B0	012 C009 C010 C010 C010 C010 C010 C010 C010	111 = C012 = D009 = D010	= D011 = D012 =
	199UT No.021 199UT No.022 199UT No.022 199U	UT No.004 DIRUT No.000 DIRUT No.004 DIRUT		
INPUT No.007 INPUT No.008	DIGIT NO.020 DIGIT NO.021 DIGIT	016 C013 C014 C0 ur No.022 DIPUT No.046 DIPUT	15 C016 D013 D014 No.07 INPUT No.061 INPUT No.061 INPUT No.062	DU15 DU16 DU16 DU16
画面E	画面F	画面G	画面H	
E001 E002 E003 E004 E004 E004 E004 E004 E004 E004	F001 F002 F003 F00 INPUT No.001 INPUT No.001 INPUT No.001 INPUT	004 G001 G002 G0 UT No.000 DIPUT No.000 DIPUT	003 G004 H001 H002	H003 H004 H004 H004 H004 H005 H005 H005 H005
E005 = E006 = E007 = E008 =	F005 = F006 = F007 = F0	008 = G005 = G006 = G0	007 = G008 = H005 = H006	= H007 = H008 =
	F009 F010 F011 F0	012 = G009 = G010 = G0	011 = G012 = H009 = H010	= H011 = H012 =
DRUT No.002 DRUT No.001 DRUT No.001 DRUT No.002	DRUT No.002 DRUT No.001 DRUT No.001 DRUT	итнька релтиска релтиска релт	No.000 NPUT No.100 NPUT No.117 NPUT No.119	
DIFUT No.001 DIFUT No.002 DIFUT No.001 DIFUT No.001	DIPUT No.001 DIPUT No.002 DIPUT No.001 DIPUT	UT No.001 DIPUT No.101 DIPUT No.102 DIPUT	10 10 H013 H014 No.103 DRUT No.101 DRUT No.001 DRUT No.002	DIPUT No.002 DIPUT No.004
<u></u>				-

7. 入力MTXの一括設定

7.1 入力 MTX の一括設定方法

下記手順により、入力 MTX の一括設定が行えます。

- 手順1. Top 画面の入力 MTX のアイコンをクリックし、入力 MTX 設定画面を表示します。
- 手順 2.入力 MTX 設定画面の左上のコンボボックスより画面とレイアウトを設定します。
- 手順3. リストにより設定対象となる子画面の入力(1~120)を入力します。
- 手順4.設定する子画面分、手順2、3を繰り返します。

手順 5. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500 へ設定します。



8. レイアウト情報のエクスポート・インポート

設定ソフトで設定したレイアウト情報を csv 形式のファイルにエクスポートすることが 出来ます。

また、csv 形式のファイルをインポートすることが出来ます。

8.1 エクスポート/インポート方法

手順1. Top 画面のツールバーの「ファイル(<u>F</u>)」→「エクスポート」または「インポート」 より行います。



<u>9.1 設定ウィザード起動方法</u>

手順1. Top 画面のツールバーの「MV 設定(<u>C</u>)」→「設定ウィザード(<u>S</u>)」より 設定ウィザードが起動します。

メッセージに沿って、設定を行なってください。

MV-500 設定ソフト Ver 9.0.21022.8		
ファイル(F) MV接続(Z) MV設定(C) プリセット登録(P) ヘルプ(H) Debug(I	D)	
	接続ステータス	
MV設定取得 MV状態 チャン 時刻設定(T)	(10.9.25.211)	
動作レイアウト設定 レイアウト切替スケジュール登録(A)		
A 1 • B 1 • C 1 • 設定ウイザード(S)		
工場出荷時設定(F)	画面C 画面D	
A001 = A002 = A003 = 8001 + 8002 = 8003 = 8004	= C001 = C002 = C003 = C004 = D001 = D002 = D003 = D004 =	
1001 1002 1000 per la color per	0 2907/6032 2907/602 1907/602 2907/602 2907/603 2907/603 2907/603 2907/603	
A004 A005 A006 A006 A006 A006 A006 A006 A006	4 DIVETINGED	
1109UT No.004 1199UT No.005 1199UT No.006 B009 E 110 B011 B012	C009 C010 C011 C012 D009 D010 D011 D012	
A007 = A008 = B013 = B0 4 = B015 = B016	= C013 = C014 = C015 = C016 = D013 = D014 = D015 = D016 = D	
INPUT No.007 INPUT No.008 DIRUT No.009 DIRUT No.007 DIRUT No.007 DIRUT No.008 DIRUT No.007 DIRUT No.007 DIRUT No.007	2 200/T No.045 200/T No.046 200/T No.047 200/T No.048 200/T No.030 200/T No.030 200/T No.031 200/T No.032	
画面E 画面F	画面G 画面H	
E001 = E002 = E003 = E004 = F001 = F002 F003 = F004 PRITING PRITING P	G001 = G002 = G003 = G004 = H001 = H002 = H003 = H004 = P0076007 P0076007 P0076008 P0076008 P0076008 P0076008 P0076008 P0076008 P0076008 P0076008 P0076008	
E005 = E006 = E007 = E008 = F005 = F006 = F007 = F008	= G005 = G006 = G007 = G008 = H005 = H006 = H007 = H008 = H008 = H007 = H008 = H008 = H007 = H008 =	
Dectricion Dectricion <thdectricion< th=""> Dectricion Dectrici</thdectricion<>	CO00 CO10 CO11 CO12 CO12 CO12 CO12 CO12 CO12 CO12	
2005 2010 2011 2012 1005 1010 1711 1012 2007%c02 2007%c02 2007%c02 2007%c02 2007%c02 2007%c02 2007%c02	8 290/7%-005 290/7%-005 290/7%-005 290/7%-005 290/7%-005 290/7%-005 290/7%-005 290/7%-005	
E013 = E014 = E015 = E016 = F013 = F014 = F0 5 = F016	= G013 = G014 = G015 = G016 = H013 = H014 = H015 = H016 =	
Perinan perina		
	- /― 手順 1. 設定ワイサードを起動	
		1
	server average server and the server	57
■ 設定ワイサート		
		1/5
		1/5
		1/5
基板構成設定		1/5
基板構成設定		1/5
基板構成設定		1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設定	を行います。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設定	を行います。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設定 設定ソフトとMV-500でま	Eを行います。 ま板構成が一致したい場合 正堂に動作したい	1/5 \場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設定 設定ソフトとMV-500で基	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない	1/5 \場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設定 設定ソフトとMV-500で基 たります。XT部にして	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない	1/5 \場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設定 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設定 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して	Eを行います。 E板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 E板構成が一致しない場合、正常に動作しない Fさい。 タンを押して下さい。	1/5 \場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5 \場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定してて 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定してて 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5 \場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定してて 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定してて 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5 N場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定してて 設定する場合は「設定」式を	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5 N場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。	1/5 N場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定してて 設定する場合は「設定」ボタ	を行います。 動構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。 設定 次へ	1/5 \場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定してて 設定する場合は「設定」ボタ	を行います。 動構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。 設定 次へ	1/5 、場合が
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定してて 設定する場合は「設定」ボタ	を行います。 動構成が一致しない場合、正常に動作しない 下さい。 タンを押して下さい。 設定 次へ	1/5 \場合が キャンセル
基板構成設定 MV-500の基板構成の設成 設定ソフトとMV-500で基 あります。必ず設定して 設定する場合は「設定」ボタ	Eを行います。 基板構成が一致しない場合、正常に動作しない Fさい。 タンを押して下さい。 設定 次へ	1/5 \場合が

10. MV-500 機器状態確認

10.1 MV-500 機器状態確認方法

手順1. Top 画面の「MV 状態」アイコンより MV 状態画面が表示し、機器状態を確認する ことが出来ます。



11.1 MV-500 故障復帰設定方法

MV-500 は以下の基板、コンパクトフラッシュが故障等で新しく付け替えた場合に 付け替える前の状態に復帰させる為、本設定が必要になります。

入力ユニット

In-Out 基板

・出力ユニット

Control 基板のコンパクトフラッシュ

Out-DVI 基板のコンパクトフラッシュ

上記以外を付け替えた場合、本設定は必要ありません。

Control 基板及び Out-DVI 基板のコンパクトフラッシュを同時に付け替えると付け替えた Out-DVI 基板の画面を復帰させることが出来ません。

本設定の手順は以下の通りです。

- 手順1. Top 画面のツールバーの「MV 設定(<u>C</u>)」→「MV 故障復帰設定(R)」より MV-500 故障復帰設定を行います。
- 手順2. 「MV-500 基板故障復帰」画面より、付け替えた基板、コンパクトフラッシュを チェックし、「OK」ボタンを押下して下さい。

🧠 MV-500 設定ソフト Ver 1.	0.1.2	
ファイル(F) MV接続(Z)	4V設定(C) プリセット登録(P) ヘルプ(H)	
r 🗖 r 🗖 🧃	構成設定(G)	接続ステータス
MV設定取得 MV状態 チャン	時刻設定(T)	(10.9.25.211)
動作レイアウト設定	レイアウト切替スケジュール登録(A)	
	設定ウイザード(S)	
画面A	工場出荷時設定(F)	画面C 画面D
A001 = A002 = A00	MV故障復帰設定(R)	04 = C001 = C002 = C003 = C004 = D001 = D002 = D003 = D004 =
		TINESS 199716-232 199716-232 199716-232 199716-232 199716-235 199716-245 199716-245 199716-245 199716-245 199716-245
NULTINGOS NULTINGOS NULTINGOS NULTINGOS	P 390/T He 608 190/T He 600 190/T HE 600/T HE 6	108 - C003 - C000 - C007 - C008 - D005 - D006 - D007 - D008 -
A009 = A010 = A011	= A012 = B009 = B010 B011 = B0	D12 = C009 = C010 = C011 = C012 = D009 = D010 = D011 = D012 =
A013 = A014 = A015	B013 B014 B015 B	C013 = C014 = C015 = D013 = D014 = D015 =
DRUT No.013 DRUT No.014 DRUT No.015	E DPUT No 028 NPUT No 028 PUT No 020	Dept7 No.563 DEPt7 No.564 DEPt7 No.565 DEPt7 No.559 DEPt7 No.559 DEPt7 No.559
画面E	画面F	画面G
E001 E002 E003	E004 = F001 = F002 = F0 13 = F0 peutinesse peutinesse peutinesse peutinesse	004 = G001 = G002 = G003 = G004 = TNLEN DEFTNLAR DEFUNCTION
E005 = E006 = E007	= E008 = F005 = F006 = F00 = F0	008 = G005 = G006 = G007 = G008 =
5000 E E010 E E011	PRITICAL PRI	
2009 E010 E011 2807 Notes 2807 Notes 2807 Notes	DBUT NL 022 DBUT NL 044 DBUT NL 045 DBUT NL 045 DBUT	The art 1 and 1 an
E013 = E014 = E015	F013 = F014 = F015 =	G013 = G014 =
Dept record		Decreation Decreation
		↓ /── 手順 1. 設定ワィザードを起動
	😡 MV-500 基板	物暗復帰 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
		HX7+152/10
	基板故障から復	記録した場合の設定の戻し作業を行います。
	基板故障から復れたのでの	泉帰した場合の設定の戻し作業を行います。
	基板故障から復 故障から復帰し	泉帰した場合の設定の戻し作業を行います。 った基板の種類を選択して下さい。
	基板故障から復 故障から復帰し	製作した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板
	基板故障から復 故障から復帰し □ 入力:	ack+ W/W
	基板故障から復 故障から復帰し □ 入力: □ 出力:	RRFFを加 限帰した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット: Control基板(フラッシュROM) OFF
	基板故障から復 故障から復帰し 〇 入力: 〇 出力:	RKFE W/M C C R C R C
	基板故障から復 故障から復帰し 〇 入力 二 出力ユ 二 出力ユニ	RRFE をかかしています。 見帰した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM)
	基板故障から復 故障から復帰し 〇 入力 一 出力 二 出力ユニ 〇 ロ	RMFERMULT 限保した場合の設定の戻し作業を行います。 いた基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) DVI 1
	基板故障から復 故障から復帰し 一入力= 一 出力= 二 一 二 一 二 一 二 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	Q帰した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) DVI 1 回 DVI 2 回 DVI 3 回 DVI 4
	基板故障から復 故障から復帰し □ 入力: □ 出力: □ 出力: □ □ □	ark+ W/W 副帰した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) VI 1 □ DVI 2 □ DVI 3 □ DVI 4 DVI 5 □ DVI 6 □ DVI 7 □ DVI 8
	基板故障から復 故障から復帰し 〇 入力: 〇 出力: 〇 口 一 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	arte and Control 基板(フラッシュROM) OFF ニット: Control 基板(フラッシュROM) OFF ニット: DVI 基板(フラッシュROM) OFF ンド: DVI 基板(フラッシュROM) DVI 1 DVI 2 DVI 3 DVI 4 DVI 5 DVI 6 DVI 7 DVI 8
	基板故障から復 故障から復帰し 〇 入力: 〇 出力: 〇 ロ 〇 ロ 〇 ロ	RKFFをパレ RWFFを行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) DVI 1 ② DVI 2 ③ DVI 3 ③ DVI 4 DVI 5 ③ DVI 6 ③ DVI 7 ③ DVI 8
	基板故障から復 故障から復帰し 〇 入力 〇 出力 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	QIRUCE WING CONTRACT OF CONT
	基板故障から復 故障から復帰し □ 入力= □ 出力= □ 出力= □ □ □ □ □ □ × 上記以外の	Altereta (Altereta (Alte
	基板故障から復帰し 故障から復帰し □ 入力: □ 出力: □ 出力: □ D □ D ※ 上記以外の	ark+ W/W 副帰した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) DVI 1
	基板故障から復 故障から復帰し □ 入力: □ 出力: □ 出力: □ □ D □ D ※ 上記以外の	ark+ ark (フラッシュROM) OFF コニット: Out基板 ユニット: Control基板(フラッシュROM) OFF ニット: DVI基板(フラッシュROM) OFF ニット: DVI基板(フラッシュROM) DVI 1 DVI 2 DVI 3 DVI 4 DVI 5 DVI 6 DVI 7 DVI 8 D基板修理では、この処理は必要ありません。
	基板故障から復 故障から復帰し 〇 入力: 〇 出力: 〇 出力: 〇 D 〇 D ※ 上記以外の	ark+ and Control
	基板故障から復 故障から復帰し ① 入力- ② 出力- 二 四 ロ ○ ロ ※ 上記以外の	ARK+12/10 副帰した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) DVI 1
	基板故障から復帰し	ark+ W/W (マラッシュROM) OFF コニット:Out基板 コニット:Out基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) OVI 1
	基板故障から復 故障から復帰し □ 入力: □ 出力: □ 出力: □ D □ D ※ 上記以外の	ark+ W/W (副帰した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) DVI 1 ① DVI 2 ② DVI 3 ② DVI 4 DVI 5 ② DVI 6 ③ DVI 7 ③ DVI 8 D基板修理では、この処理は必要ありません。 OK
	基板故障から復 故障から復帰し □ 入力: □ 出力: □ 出力: □ D □ D ※ 上記以外の	ark+ W/W 副帰した場合の設定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) DVI 1 ① DVI 2 ② DVI 3 ③ DVI 4 DVI 5 ③ DVI 6 ③ DVI 7 ③ DVI 8 D基板修理では、この処理は必要ありません。 OK
	基板故障から復 故障から復帰し ① 入力 ② 出力 ③ ロ ○ ロ ※ 上記以外の 手順 2	Alterent Control 表示の思定の戻し作業を行います。 した基板の種類を選択して下さい。 ユニット:Out基板 ユニット:Control 基板(フラッシュROM) OFF ニット:DVI基板(フラッシュROM) WI 1 DVI 2 DVI 3 DVI 4 WI 5 DVI 6 DVI 7 DVI 8 D基板修理では、この処理は必要ありません。 OK 2. 新しく付け替えた部品にチェック



MV-500の設定データの構造について以下に記載します。

※ レイアウトの子画面数は画面子画面数設定で設定された数になります。

13. 出荷時設定について

工場出荷時の設定内容は以下の通りです。

モニタ数

モニタ数 : 基板構成により設定内容が異なります。

- ・ 出力モニタアスペクト比 【全画面共通】
 出力モニタアスペクト比 : 16:9
- ・ プリセット【全プリセット共通】
 プリセット構成 : 画面 A~H = レイアウト1
- ・ 画面子画面数 【全画面共通】
 子画面数 : 基板構成により設定内容が異なります。
- 画面レイアウト 【全レイアウト共通】
 子画面の位置、サイズ : 基板構成により設定内容が異なります。
 時計表示 : アナログ時計表示=OFF
 デジタル時計表示=ON
 コメントウィンドウ(1~8)表示 : OFF
 背景表示 : ON (haikeix.png(x=レイアウト No))
- ・ 子画面レイアウト 【全子画面共通】
 表示 : ON
 アスペクト : 16:9
 サブアスペクト : スクィーズ
 音声バー表示位置 : 右
 枠モード : ノーマルモード
 チャンネル名称表示 : ON
 チャンネルロゴ表示 : ON
- 入力 MTX 設定 【全レイアウト共通】
 画面 A 子画面 1 = 入力番号 1
 ~
 画面 H 子画面 8 = 入力番号 120
 画面 H 子画面 9 = 入力番号 1
 ~
 画面 H 子画面 16 = 入力番号 8
- チャンネル名称 【全入力共通】
 入力番号1 =「チャンネル 001」
 〜
 入力番号 120 =「チャンネル 120」
- チャンネルロゴ 【全入力共通】
 ロゴ

Rev.4

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品に ついてのアフターサービスは、お買い 上げの販売店におたずねください。 なお、販売店が不明の場合は弊社へお 手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは
販売店:
TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1974-1 TEL:0256-93-5035 FAX:0256-93-5038